

新テストに向けた教科を超えた話し合いが、自身の指導改善にもつながる

6月号の特集は、2つの新テストについて理解が深まる内容だった。現状把握で示されていた「『大学入学者選抜改革』」「大学入試改革」ではない」という説明が大変分かりやすかった。本特集を用いて、数年後の変化のために今からすべきことについて校内で話し合ったところ、授業スタイルの改善が急務であるという共通理解を教師間で図ることができた。特に、新テストの各教科の問題例と分析を示しつつ、具体的に求められている力の育成について教科の垣根を超え話し合ったことで、自分自身のこれからの教科指導・進路指導のさらなる改善について考えることができた。今回の特集は、今後、何度も読み返すことになりそうだ。

〔広島県立広島観音高校・長光優樹〕

学びは他者との関係の中で成立すると実感

6月号「実践 アクティブ・ラーニング」の記事にあった、「自分1人で分かったような気になるのではなく、誰かと相談したり、誰かに説明したりするなど、他者との関係の中で学びが成立する」という言葉に大いに共感した。私も、問題演習に取り組む生徒から、「この問題が分からないから教えてください」と声をかけられた時には、「隣のAさんに教えてもらってごらん」「Bさん、教えてあげて」などと一言、生徒同士の学びの場をつくるように心がけている。

〔広島市立沼田高校・正木勝治〕

Reader's VIEW

Volume 3

読者のページ

読者の先生方からのご意見を紹介します

前例踏襲ではないチャレンジが、生徒の意欲向上に結びつく

6月号「指導変革の軌跡」の青森県立田名部高校が置かれている状況は、地方の公立高校に共通する課題だ。同校の「控えめな目標しか語らない生徒たち」というのも、本校とよく似ており、「推薦・AOワークシヨップ」を通して、生徒一人ひとりが志望校への意欲を高く保っている点が参考になった。また、若手教師が、新しい取り組みに積極的にチャレンジできる環境というのも素晴らしい。前例踏襲ばかりで進歩のない学校には、未来がないと思う。

〔和歌山県・匿名希望〕

教育委員会の支援は、目指す教育を実現する上で重要

6月号の「次代の教育を形づくる教委の一手」を読み、愛媛県が目指す教育が明確にされ、その実現に向けて教育委員会が支援できている点が素晴らしいと感じた。学校を核とした地域再生が求められつつあり、今後の教育のあり方の1つの実践例となり得る取り組みであった。教育委員会の支援の下、学校・地域・企業の連携は大切だと思う。

〔兵庫県・匿名希望〕

教師川柳

湧き上がる夏雲のような夢を持って

福島県・臥煙

『VIEW21』高校版はウェブサイトでもご覧いただけます！

本誌の最新号、及びバックナンバーは、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトで公開しております。誌面のPDFや「改良！指導ツール ピフォーアフター」の図版もダウンロードできます。ぜひご利用ください。

詳しくは

VIEW21 高校版

検索

<http://berd.benesse.jp/magazine/kou/>



編集後記

◎今号の特集は、次期学習指導要領の柱の1つとなる「カリキュラム・マネジメント」（以下、カリ・マネ）がテーマでしたが、いかがでしたでしょうか。この時期に本テーマを取り上げたのは、次年度の教育課程の編成等にぜひお役立ていただきたいという編集部の思いからです。そのため、カリ・マネの手順や各教師の果たすべき役割、そして実践例と、カリ・マネを具体的にイメージしていただけるような誌面内容を心がけました。カリ・マネの教科書として、ご利用いただけますと幸いです。（柏木）

VIEW21 8月号 Vol.3

2016年8月22日発行

発行人 山崎昌樹

編集人 春名啓紀

発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所

印刷製本 (株)協同プレス

編集協力 (有)ペンダコ

執筆協力 中丸 満、二宮良太、長谷川敦

撮影協力 荒川 潤、小菅総一郎、田中秀和、谷口 哲、ヤマグチイキ

VIEW21編集部

〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2016

VIEW21

2016
October
10月
Volume 4

次号は
10月17日発行(予定)

『VIEW21』高校版は
年6回の発行です